

令和 6 年度 業務報告



林業技術センター

Forestry Research Center

広島県三次市十日市東四丁目 6-1

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/33/>

目 次

I	技術開発	1
1	課題解決研究	
(1)	「早生樹コウヨウザンの高品質化」と「省力化造林プロセス」の確立による持続的な林業経営の確立—森林資源経営サイクルの構築によるカーボンニュートラルへの貢献—	2
(2)	一次産業施設（ハウス）へのモデルベース開発（MBD）を活用した生産性向上を支援する施設内環境制御技術の開発	2
2	基盤研究	3
(1)	林業用樹種の無花粉化に向けたゲノム編集技術の開発	3
(2)	センダン植栽木の成長調査及び間伐・樹形管理	3
(3)	チャンチン根萌芽を用いた育苗技術の開発	3
(4)	少花粉ヒノキ採穂台木育成方法の開発	4
(5)	県内精英樹ヒノキ種子・少花粉スギ種子の高品質化	4
(6)	ナラ枯れ調査	4
(7)	ランダイスギの材質特性を明らかにする研究	4
(8)	コウヨウザン採種園の管理育成技術の開発	5
(9)	低密度植栽による林業用樹種の成長と材質特性に関する研究	5
(10)	広葉樹材の強度性能評価	5
3	D X 事業	6
(1)	ドローンや航空機レーザ測量データの画像解析と森林資源情報の活用支援	6
4	受託研究・共同研究	6
II	技術支援・人材育成	7
1	苗木生産体制整備事業	8
(1)	苗木生産推進事業	8
(2)	広島スーパーマツ普及体制整備事業	9
2	技術的課題解決支援事業	10
3	設備利用及び依頼試験	11
4	研修会等への講師派遣等	12
5	技術相談	13
III	技術移転	14
1	林業技術センター研究成果発表	15
2	試験研究成果等の発表	16
(1)	「ひろしまの林業」への投稿	16
(2)	学会・刊行物	16
3	広報	17

(1) 新聞	17
IV 參考資料	18
1 収支状況	18
(1) 収入	18
(2) 支出	18
2 職員名簿	19

I 技 術 開 発

1 課 題 解 決 研 究

- (1) 「早生樹コウヨウザンの高品質化」と「省力化造林プロセス」の確立による持続的な林業経営の確立ー森林資源経営サイクルの構築によるカーボンニュートラルへの貢献ー
- (2) 一次産業施設（ハウス）へのモデルベース開発（MBD）を活用した生産性向上を支援する施設内環境制御技術の開発

2 基 盤 研 究

- (1) 林業用樹種の無花粉化に向けたゲノム編集技術の開発
- (2) センダン植栽木の成長調査及び間伐・樹形管理
- (3) チャンチン根萌芽を用いた育苗技術の開発
- (4) 少花粉ヒノキ採穂台木育成方法の開発
- (5) 県内精英樹ヒノキ種子・少花粉スギ種子の高品質化
- (6) ナラ枯れ調査
- (7) ランダイスギの材質特性を明らかにする研究
- (8) コウヨウザン採種園の管理育成技術の開発
- (9) 低密度植栽による林業用樹種の成長と材質特性に関する研究
- (10) 広葉樹材の強度性能評価

3 D X 事 業

- (1) ドローンや航空機レーザ測量データの画像解析と森林資源情報の活用支援

4 受 託 研 究 ・ 共 同 研 究

1 課題解決研究

(1)「早生樹コウヨウザンの高品質化」と「省力化造林プロセス」の確立による持続的な林業経営の確立ー森林資源経営サイクルの構築によるカーボンニュートラルへの貢献ー

[研究区分・期間・年次] 課題解決研究・令和4年度～令和6年度・3年目

[担当者] 坂田 勉・渡辺 靖崇・山本 健・今岡 成紹・古本 拓也・山本 啓
・齋藤 一郎・守下 克彦・涌嶋 智

[目的]

県では、「2025 広島県農林水産業アクションプログラム」の林業分野において、森林資源経営サイクルを構築し、年間 40 万 m³の県産材が安定的に生産され、持続的な林業経営が行われている状態を目指すこととしており、目指す姿の実現に向けた取組については、県内人工林において、シカ等の被害抑制対策、少花粉品種苗木等の安定供給体制の構築、投資回収までの期間短縮が期待される早生樹コウヨウザンの活用による森林施業の低コスト化を推進することにより、主伐後の再造林を確実に実施するために必要な技術の確立に取り組むこととしている。

これらの取組のうち、早生樹コウヨウザンの造林技術や林業機械の導入による森林施業の低コスト化について、当センターの保有技術を活用し、下記の3項目の課題解決を図り、持続的な林業経営の実現による森林資源経営サイクルの構築とともに、2050 カーボンニュートラルの実現に貢献する。

[全体計画]

- (1) 早生樹コウヨウザンの高品質化
- (2) 早生樹コウヨウザン造林技術の確立
- (3) 機械化造林プロセスの確立

[成果の概要]

- (1)、(2) 研究成果を「早生樹コウヨウザンの育林技術」に取りまとめて公表した。
- (3) 標高図、地形傾斜図、CS 立体図、樹高図、地面到達レーザ点群密度図、計測年度図の6図を森林管理基盤情報として公開した。

(2) 一次産業施設（ハウス）へのモデルベース開発（MBD）を活用した生産性向上を支援する施設内環境制御技術の開発

[研究区分・期間・年次] 課題解決研究・令和5年度～令和7年度・2年目

[担当者] 今岡 成紹・山本 啓・古本 拓也・坂田 勉・涌嶋 智

[目的]

少花粉品種用の施設型採種園における人工授粉の省力化を目的として、受粉に必要な花粉浮遊を可能とする気流制御を利用した受粉効率向上技術の開発を行う。

[全体計画]

- (1) 共通モデルの開発およびCFD解析の技術力向上
- (2) ハウス内気流および花粉浮遊挙動の見える化と制御閾値の決定
- (3) 花粉浮遊制御による受粉効率向上技術の開発

[成 果 の 概 要]

- (1) (2、3年目実施項目なし)
- (2) 模擬花粉を用いた花粉飛散実験を行い、飛散状況等を計測した。
- (3) 試験用足場管ビニルハウスを作成した。

2 基 盤 研 究

(1) 林業用樹種の無花粉化に向けたゲノム編集技術の開発

[研究区分・期間・年次] 基盤研究・令和6年度

(共同研究) 国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所森林バイオ研究センター

[担 当 者] 古本 拓也

[目 的]

コウヨウザン及びヒノキにおいて、無花粉化ベクターを作成し、形質転換体を獲得する。

[研 究 内 容]

ヒノキにおいて、無花粉化ベクターによる形質転換実験を行い、形質転換体の獲得に成功した。

(2) センダン植栽木の成長調査及び間伐・樹形管理

[研究区分・期間・年次] 基盤研究・令和6年度

[担 当 者] 坂田 勉

[目 的]

県内から選抜したセンダン系統の育林データを取得する。

[研 究 内 容]

令和5年に間伐した切株から発生した萌芽は消失した。

(3) チャンチン根萌芽を用いた育苗技術の開発

[研究区分・期間・年次] 基盤研究・令和6年度・2年目

[担 当 者] 坂田 勉

[目 的]

チャンチンは幹が通直で成長が早い広葉樹で、材質も良く南洋材の代替樹種として知られている。林業技術センター樹木園の個体から発生した根萌芽を用いた苗木増殖方法の開発を行う。

[研 究 内 容]

令和5年12月に株分けしてコンテナに移植した苗の育成を行った。

（４）少花粉ヒノキ採穂台木育成方法の開発

[研究区分・期間・年次] 基盤研究・令和6年度

[担当者] 坂田 勉

[目的]
少花粉ヒノキに適した採穂台木の樹形の検討を行う。

[研究内容]
真庭2号と名賀3号の1年生挿木苗を植栽し、採穂台木造成に向けた育成を行った。

（５）県内精英樹ヒノキ種子・少花粉スギ種子の高品質化

[研究区分・期間・年次] 基盤研究・令和6年度

[担当者] 古本 拓也・守下 克彦

[目的]
種子の充実種子率を向上させる手法として袋掛け及びSMP処理の効果を検証する。

[研究内容]
ヒノキ採種園において、①無処理、②SMP処理、③袋掛け処理、④SMP処理と袋掛け処理両方の処理を実施した種子の充実種子率を比較した結果、④で最も高くなり、両処理の有効性が示された。

（６）ナラ枯れ調査

[研究区分・期間・年次] 基盤研究・令和6年度

[担当者] 山本 啓・守下 克彦

[目的]
県内のナラ枯れの被害状況を明らかにする。

[研究内容]
森林保全課と共に防災ヘリに搭乗して、ナラ枯れの被害状況を調査した。

（７）ランダイスギの材質特性を明らかにする研究

[研究区分・期間・年次] 基盤研究・令和6年度・3年目

[担当者] 渡辺 靖崇・山本 啓

[目的]

台湾産ランダイスギの樹幹内の強度分布を明らかにする。

[研究 内 容]

台湾産ランダイスギ材を用いて曲げ試験を行い、樹幹内の曲げ強度分布を調査した。

（８）コウヨウザン採種園の管理育成技術の開発

[研究区分・期間・年次] 基盤研究・令和6年度

[担 当 者] 古本 拓也・守下 克彦

[目 的]

コウヨウザンの県内産種子を生産するため、採種園を整備し、樹形管理や交配方法など採種園管理技術を開発する。

[研究 内 容]

雌花の自然着花がみられた母樹について、県内優良系統から花粉を採取し、人工交配を実施した。10月に種子を採取し、種子解剖及び発芽検定により種子の品質を評価したところ、充実種子率は約50%であった。

（９）低密度植栽による林業用樹種の成長と材質特性に関する研究

[研究区分・期間・年次] 基盤研究・令和6年度・2年目

[担 当 者] 渡辺 靖崇・山本 啓

[目 的]

1000～2000本/ha程度の低密度植栽が植栽木に与える影響を明らかにする。

[研究 内 容]

篠原山国有林から採取した丸太材より採取した板材より曲げ試験体を複数採取して曲げ試験を実施した。

（10）広葉樹材の強度性能評価

[研究区分・期間・年次] 基盤研究・令和6年度

[担 当 者] 渡辺 靖崇

[目 的]

広葉樹材のさまざまな利用に向け強度特性に関する基礎データを明らかにする。

[研究 内 容]

アベマキ材72本に対して縦振動法による動的ヤング係数の計測を実施した。

3 D X 事業

(1) ドローンや航空機レーザ測量データの画像解析と森林資源情報の活用支援

[研究区分・期間・年次] DX事業・令和6年度

[担当者] 山本 啓・守下 克彦・今岡 成紹

[目的]

林業事業体および市町・県職員に対し、地理空間情報の解析技術を移転する。

[研究内容]

地理情報システム (GIS) を利用し、航空レーザから作成した森林管理基盤情報やドローン撮影画像の解析に関する研修を実施した。

4 受託研究・共同研究

企業等からの受託研究や他機関との共同研究を実施した。

[実績]

(件)

区 分	件 数
受 託 研 究	12
共 同 研 究	4

Ⅱ 技術支援・人材育成

1 苗木生産体制整備事業

- (1) 苗木生産推進事業
- (2) 広島スーパーマツ普及体制整備事業

2 技術的課題解決支援事業

3 設備利用及び依頼試験

4 研修会等への講師派遣等

5 技術相談

1 苗木生産体制整備事業

(1) 苗木生産推進事業

[担 当 者] 重松 章彦・守下 克彦・涌嶋 智・古本 拓也・福芳 隆博

[目 的]

スギ・ヒノキ等の優良種苗の確保、増殖、普及を図るために、採種園の管理・整備及び種子の採取等を行う。

[事業実績]

ア 採種園管理事業

(ha)

採種園	樹 種	下刈	薬剤防除	整枝剪定	施肥
金 田	スギ	0.63	0.63	0.14	0.63
庄 原	ヒノキ	1.67	1.02	1.02	1.02
大平ヶ丸	スギ、ヒノキ	0.30	－	－	－
天 樋	ヒノキ	0.50	－	－	－
久 井	ヒノキ	0.15	0.15	－	－

イ 採種園整備事業

(本)

採種園	樹 種	植栽本数	備 考
庄 原	ヒノキ	361	特定母樹他
金 田	スギ	170	花粉の少ないスギ
久 井	ヒノキ	388	花粉の少ないヒノキ

ウ 着花結実促進事業

採種園	樹 種	ジベレリン処理
大平ヶ丸	ヒノキ	73 枝・ペースト
金 田	スギ	0.2ha 散布
高 平	スギ	40 枝

エ 種子採取事業

(kg)

樹種	採種園	球果重量	精選種子重量※4
ヒノキ	天樋	8.71	0.77
	大平ヶ丸	134.01	12.97
	庄原（精英樹）	35.22	2.96
スギ	金田（少花粉）	12.12	0.66

※4 種子は採種園ごとに品種を混合して球果を採取し、種子を脱粒・精選した。
オ 種子発芽検定事業

- ① 対象種子 令和6年度産スギ・ヒノキ種子
- ② 播 種 令和7年1月20日（流水処理：1月15日～20日）
- ③ 検定方法 寒天培地（1.0％）のシャーレに播種して、23℃、湿度75％、12時間点灯の人工気象器内においた。
- ④ 検 体 数 100粒×4回繰り返し 計400粒
- ⑤ 検定結果 （ヒノキ、スギの発芽締切はそれぞれ21日後、28日後）

（令和6年度産種子）

樹種	採種園	発芽率（％）	純量率（％）	g/1,000粒	粒数/g	粒数/ℓ
ヒノキ	天樋	3	98.9	1.8	556	131,000
	大平ヶ丸	4	99.3	1.9	527	129,000
	庄原（精英樹）	11	100.0	2.1	478	125,000
スギ	金田（少花粉）	7	100.0	2.3	430	181,000

（2）広島スーパーマツ普及体制整備事業

〔担 当 者〕 重松 章彦・守下 克彦・涌嶋 智・古本 拓也

〔目 的〕

松くい虫に抵抗性のあるマツを計画的に生産・普及し、本県マツ林の再生を図る。

〔事業実績〕

ア 採種園管理事業

(ha)

採種園	樹種	面積	下刈	薬剤防除	整枝剪定	施肥
金田	抵抗性アカマツ	0.83	0.83	0.83	－	0.83
高平	抵抗性クロマツ	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50

イ 種子採取事業

(kg)

樹種	採種園※1	球果重量	充実種子重量※2
抵抗性アカマツ	金田	69.50	0.73
抵抗性クロマツ	高平	54.09	0.26
合計		123.59	0.99

※1 金田採種園産抵抗性アカマツの球果を採取し、種子を脱粒・精選した。

※2 充実種子は風選した種子を99.5％のエチルアルコールで精選し、シイナ種子を除去したものの。

ウ 種子発芽検定事業

- ① 対象種子 令和6年度産抵抗性アカマツ種子
- ② 播 種 令和7年1月20日（流水処理：1月15日～ 20日）
- ③ 検定方法 寒天培地（1.0%）のシャーレに播種して、23℃、湿度75%、12時間点灯の人工気象器内においた。
- ④ 検 体 数 50粒×4回繰り返し 計200粒
- ⑤ 検定結果 （マツの発芽締切は21日後）

（令和6年度種子）

樹種	採種園	発芽率(%)※3	純量率(%)※3	g/1,000粒	粒数/g	粒数/ℓ
アカマツ	金田	9	94.3	4.8	209	119,000
クロマツ	高平	13	83.5	8.7	115	64,000

※3 発芽率と純量率は冷蔵貯蔵後の充実種子を用いて算出した。

エ 接種検定事業

- ① 対象苗木 抵抗性アカマツ・クロマツ（広島スーパーマツ）苗木
- ② 接種年月日 令和6年7月23日
- ③ センチュウ 系統名「Ka-4」
- ④ 接種頭数 5,000頭/本
- ⑤ 検定結果 観察：接種140日後

樹種等	品種	検定本数(本)	健全率(%)	生存率(%)
抵抗性アカマツ	系統混合	188	62	64
精英樹アカマツ	系統混合	167	28	28

2 技術的課題解決支援事業

[担 当] 林業研究部・技術支援部

[目 的]

利用者からの技術的課題解決依頼に応じて、その解決に向けて検討することを請負、技術指導と併せ検討結果を記載した技術支援レポートを交付する。

[事業実績]

申請者数(名)	件数(件)
0	0

3 設備利用及び依頼試験

[担 当] 林業研究部・技術支援部・総務担当

[目 的]

企業等からの木材加工機器や設備の利用促進を図るとともに、木材の性能に関する依頼試験を実施する。

[事業実績]

設 備 利 用	処 理 実 績
木材万能強度試験機	44 時間
実大材強度試験機	51 時間
実大材引張試験機	
壁体せん断試験機	
含水率調整機	
ハイパワー含水率調整機	
送風式定温乾燥機	
多点ひずみ測定装置 (木材万能強度試験機用)	44 時間
多点ひずみ測定装置 (実大材強度試験機用)	26 時間
自動二面直角かんな盤	
モルダー	1 時間
リップソー	
クロスカットソー	1 時間
万能横切機	
パネルソー	1 時間
ユニバーサルサンダー	
柱用コールドプレス	
幅はぎプレス	
ホットプレス	
接着剤塗布機	
チップ粉砕機	
合 計	168 時間

依 頼 試 験	処 理 実 績
(基本物性試験)	
曲げ試験	
圧縮試験	
引張り試験	
せん断試験	
くぎ引き抜き試験	
含水率測定試験	21 件
(実大材強度試験)	
曲げ試験	21 件
坐屈試験	
短柱圧縮試験	8 件
引張り試験	4 件
壁体せん断試験	
(接合部強度試験)	
曲げ試験	
引張り試験	
(成績書及び証明書)	
和文	
英文	
写真加算	57 件
前処理及び試料調整	2 件
合 計	113 件

4 研修会等への講師派遣等

[講 師]

年 月 日	研修会名または内容	主催又は依頼先	氏 名	対象 人員 (人)	場 所
R6年6月12日	令和6年度広島県西部地区森林再生協議会総会	広島県西部地区森林再生協議会	涌嶋 智	23	太田川森林組合
R6年6月20日	令和6年度西部素材生産者協議会総会	西部地区素材生産者協議会	涌嶋 智 山本 啓	16	安芸太田町林業総合センター
R6年6月28日	林業技士会セミナー	広島県林業技士会	涌嶋 智 山本 啓	30	広島県土地改良会館
R6年7月22日	世羅の里山と木を考える集い	ひろしま「山の日」県民の集い 世羅町実行委員	涌嶋 智	50	せら文化センター
R6年8月1日	コウヨウザン視察・勉強会	林業課他	堀 仁志 涌嶋 智	26	庄原コウヨウザン林、木材実験棟
R6年11月29日	全国林業経営者協会コウヨウザン研修	全国林業経営者協会	涌嶋 智 齋藤 一郎	19	高平施設、木材実験棟
R6年12月24日	令和6年度コンテナ苗生産者のための勉強会	広島県樹苗農業協同組合	坂田 勉	31	広島県三次庁舎
R7年1月29日	令和6年度低コスト再造林研修会	林業課	渡辺 靖崇	57	吉和ふれあい交流センター
R7年2月5日	近畿中国森林管理局森林・林業交流研究発表会	近畿中国森林管理局	渡辺 靖崇	30	近畿中国森林管理局
R7年3月12日	令和6年度事業者等におけるデジタル技術導入の加速化促進に係る個別研修	備北森林組合	守下 克彦 山本 啓	9	備北森林組合

5 技 術 相 談

[実 績]

(単位：件)

業種別	月別相談件数												年計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
素 材 生 産 業			1	1									2
林業用種苗生産業		1	1	1	1	1		1	2	1	1	1	11
森 林 組 合					1			1		1	4		7
製 材 業	1	2	1		1		1		1		2		9
木材・木製品製造業	4	1	2	1	3		6	4	4	3	3	3	34
そ の 他 製 造 業		2	3	2	7	9	5	5	2	2		3	40
建 築 工 事 業	4	1	1	3		3	1	2		2			17
専 門 サ ー ビ ス (森 林 ・ 林 業)		3			2	1		2	1				9
専 門 サ ー ビ ス (木 材)	1												1
団体 (森林・林業)	2		1	1	2	2	1	1	3	1			14
団 体 (木 材)	3	2	2	2	5	3	2	3	2	1			25
研究機関 (公設試)	2	2	1	1	1	2	4	3	3			1	20
国 (行 政)	4	1	3									1	9
県 (行 政)	8	7	2	2	3	8	7	7	6	5	3	6	64
市 町	3				1	1		2			1		8
教育機関 (大学)	1	5		1		2	1	2		1	1		14
教育機関 (大学以外)													0
そ の 他	6	2	1	2	2	2	4	7	7	1	22	5	61
合 計	39	29	19	17	29	34	32	40	31	18	37	20	345

Ⅲ 技 術 移 転

1 林業技術センター研究成果発表会

2 試験研究成果等の発表

- (1) 「ひろしまの林業」への投稿
- (2) 学会・刊行物

3 広 報

- (1) 新聞

1 林業技術センター研究成果発表

(1) 日 時

令和7年2月14日(金) 13:00 ～ 16:00

(2) 場 所

みよしまちづくりセンター(三次市十日市西六丁目10-45)

(3) 内 容

1 講演

「航空レーザデータの林業への積極的な活用について～CS 立体図を用いた地形判読～」

株式会社ジオ・フォレスト

代表取締役 戸田 堅一郎 様

2 研究成果の発表

番 号	発 表 題 目	発 表 者
1	森林管理基盤情報の公開について	山本 啓
2	低密度植栽が植栽木に与える影響	渡辺 靖崇

3 ポスター展示交流会

番 号	発 表 題 目
1	優良品種の種子生産への取組み
2	人工授粉やカメムシ防除によるヒノキ高品質種子生産試験
3	採種時期別のヒノキ特定母樹種子の発芽試験
4	新たな造林樹種としての早生樹コウヨウザンの可能性 —これまでの成果と今後の方向—
5	コウヨウザンで作った集成材・LVL・合板・平パレット
6	庄原市川北町のコウヨウザン立木の打撃が伝わる速さの測定
7	コウヨウザンの初期成長について —1年生裸苗のサイズ別植栽試験7年間の記録—
8	林業技術センター高平施設 木材実験棟の利用について —製材品等の性能評価や製材加工などの技術支援—
9	森林管理基盤情報の概要について

4 来場者数 98名(実地78名、Web20名)

2 試験研究成果等の発表

(1) 「ひろしまの林業」への投稿

林業技術センター情報

巻号	年月日	題 名	氏 名
878	R6. 5. 1	林業技術センターの活動内容について	堀 仁志
880	R6. 7. 1	令和5年度林業技術センター研究成果発表について	坂田 勉
882	R6. 9. 1	航空レーザ測量成果を用いた「森林管理基盤情報」の公開と活用	山本 啓
884	R6.11. 1	優良品種の種子生産への取組み	涌嶋 智
886	R7. 1. 1	ヒノキ採種園で生産される種子の品質向上の取組み	古本 拓也
888	R7. 3. 1	コウヨウザンの初期成長（7成長期）の記録	坂田 勉

(2) 学会・刊行物

学会口頭発表等

年月日	学会発表の名称	発 表 題 名	発表者	講演要旨等
令和6年9月14日	日本木材学会中国・四国支部第35回研究発表会	CLT プラットフォームの屋外載荷暴露試験	山本 健、上田摩耶子	日本木材学会中国・四国支部第35回研究発表会（広島）研究発表要旨集
令和6年9月14日	日本木材学会中国・四国支部第35回研究発表会	樹齢122年生コウヨウザンの樹幹内半径方向の曲げ強度分布	渡辺靖崇、山本 啓	日本木材学会中国・四国支部第35回研究発表会（広島）研究発表要旨集
令和6年9月14日	日本木材学会中国・四国支部第35回研究発表会	台湾産ランダイスギの樹幹内半径方向の曲げ強度分布	渡辺 靖崇、山本 啓、松田 方典、酒井 将秀、鍾 振徳	日本木材学会中国・四国支部第35回研究発表会（広島）研究発表要旨集
令和6年9月14日	日本木材学会中国・四国支部第35回研究発表会	樹齢58年生コウヨウザンの樹幹内半径方向の曲げ強度分布	山本 啓、渡辺靖崇	日本木材学会中国・四国支部第35回研究発表会（広島）研究発表要旨集

3 広 報

(1) 新 聞

年 月 日	新 聞 名	内 容
R7.2.19	中国新聞	森林管理基盤情報の公開について

IV 参 考 資 料

1 収支状況

(1) 収 入

科 目	金額 (千円)
施 設 使 用 料	22
総合技術研究所使用料及び手数料	1,644
使 用 料	212
手 数 料	1,431
財 産 収 入	680
収 穫 物 売 払 収 入 等	680
諸 収 入	2,442
試 験 研 究 受 託 金	1,929
技術的課題解決支援事業受託金	4
保 険 料	0
雑 入	509
合 計	4,788

※千円未満四捨五入のため、合計が一致しない場合がある。

(2) 支 出

科 目	金額 (千円)
総 務 費	36,964
研 究 開 発 費	36,964
衛 生 費	7
自 然 環 境 対 策 費	7
農 林 水 産 業 費	13,660
林 業 振 興 指 導 費	3
林 業 総 務 費	0
森 林 整 備 費	13,657
災 害 復 旧 費	0
公 共 施 設 災 害 復 旧 費	0
合 計	50,631

※千円未満四捨五入のため、合計が一致しない場合がある。

2 職員名簿

(令和7年3月31日現在)

部 名	職 名	氏 名
	セ ン タ ー 長	堀 仁志
	次 長	藤永 正夫
	次 長	涌嶋 智
総 務 担 当	主 任	藤本 嵩史
	主任（エルダー）	奥中 和好
	総合技術研究所事務従事員	吉村 秀幸
技術支援部	（ 兼 ） 部 長	涌嶋 智
	研 究 員	守下 克彦
	育 種 業 務 従 事 員	重松 章彦
林業研究部	部 長	坂田 勉
	副 部 長	齋藤 一郎
	主 任 研 究 員	山本 健
	研 究 員	渡辺 靖崇
	研 究 員	今岡 成昭
	研 究 員	古本 拓也
	研 究 員	山本 啓
	技師（臨時的任用）	福芳 隆博（※）

（※）令和6年4月1日～令和7年3月10日の在籍

令和 6 年度業務報告

令和 7 年 8 月 29 日発行

広島県立総合技術研究所 林業技術センター

広島県三次市十日市東四丁目 6－1

T E L 0824－63－5181（代表） （直通電話）技術相談専用 0824－63－0897

F A X 0824－63－7103

U R L <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/33/>
